

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	QV-312B		
S/No.			
お買い上げの日	対象部分(機器本体・消耗品は除く) お買い上げの日から1年		
お名前	様		
お客様ご住所	TEL.()		
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。		

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。



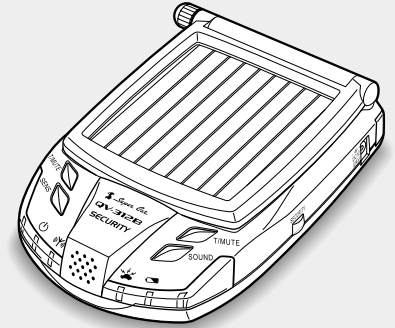
高感度多機能コードレスレーダー探知機

QV-312B

取扱説明書

12V/24V車対応

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピードア取締り機の前もってお知らせする受信機です。



目次

はじめに

安全上のご注意	2
各部の名称と働き	4
電源について	6
ダッシュボードに取り付ける	8
サンバイザーに取り付ける	9

使いかた

レーダー編

音量/警報音/受信感度を設定する	10
便利な機能について	12
レーダーアラーム機能について	12
iDSPについて	13

無線編

12バンド受信機能について	14
---------------	----

セキュリティ編

カーセキュリティ機能について	18
----------------	----

その他

取締りのミニ知識	21
取締りレーダー波を受信しにくい場合	21
故障かな?と思ったら	22
仕様	22
アフターサービスについて	23
保証書	裏表紙

ご愛用者アンケートにご協力ください

携帯(iモード/Vodafone live!/EZweb対応)またはパソコンから、お答えください。

- 「メール会員登録」をしてください。(登録無料)
- 宛先に「yupiteru@mo-on.com」、件名または本文に『会員』と入力し、メールを送信してください。
- しばらくすると、確認のメールが返信されますので、登録画面にしがって、必要事項を入力してください。

※迷惑メール対策で、ドメイン指定受信を設定されている方は、弊社からの確認メールのために、「@mo-on.com」からのメールを受信できるように設定してから、メールしてください。



宛先	yupiteru@mo-on.com
件名	
会員	
本文	
会員	

コピテル工業株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

R100



※この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

△注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

⊘ 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、警戒状態にしない…警報機能がはたらいた場合、大音量が発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。

⊘ 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

⊘ 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 警報したときに慌ててブレーキをかけたらない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

⊘ バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⊘ 医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

⚠ 警告

シガープラグコード接続時

❗ シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

❗ シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

⊘ ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

⊘ 表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

⊘ 煙が出ている、変な臭いがあるなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

⊘ 助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠ 注意

シガープラグコード接続時

⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

❗ 取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

❗ 車から離れたときは、電源を切る…本機はオートパワーOFF機能を搭載していますが、使用しないときは専用の充電電池を抜いてください。また、シガープラグコードを接続している場合は、エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

⊘ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

⊘ お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

日頃から安全運転をお心がけください

このレーダー探知機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。レーダー方式以外の赤外線や光電管式、ループコイル式などのスピード測定装置には反応しません。また、電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに注意してください。

※ 探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

各部の名称と働き

本体

UHF/VHFスイッチ [UHF/VHF]

無線10バンド受信機能の設定/解除を選べます。
(14ページ)

テスト&ミュートボタン [T/MUTE]

警報音の確認やミュート機能を使うときに押します。
(6、10、12、14、20ページ)

音量ツマミ [+ VOL -]

警報音の音量調節ができます。(10ページ)

受信感度セレクトボタン [SENS]

走行環境や条件に合わせて受信感度が選べます。
(11、14、15ページ)

パイロットランプ [P]

電源が入ると点滅します。(10ページ)

感度ランプ [S]

受信感度をランプの色で表示します。(11、15、20ページ)

アラームランプ

取締りレーダー波を受信すると赤く点滅/点灯します。
また、セキュリティの警報時などに点滅します。(12、18、19ページ)

レーダー波アンテナ (前面)

取締りレーダー波を受信します。

ステータスLED

セキュリティモードや警報時に点滅します。(18ページ)

DCジャック [DC 12V/24V] (12V/24V車対応)

付属のシガープラグコードを接続します。(6ページ)

セキュリティボタン [SECURITY]

セキュリティシステムの設定/解除ができます。(18、19、20ページ)

警報音セレクトボタン [SOUND]

取締りレーダー波受信時の警報音が選べます。(10ページ)

バッテリーランプ [B]

テスト&ミュートボタンが押されている間はバッテリーの
残量を表示し、バッテリーが消耗してくると点滅します。(7ページ)

UHF/VHFランプ [F]

無線10バンドの電波を受信したとき緑色に点滅します。
(15ページ)

セキュリティ用サイレン

警報時のサイレンが鳴ります。(19ページ)

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

●専用ニッケル水素電池 (1)



●サンバイザー用 クリップ (1)

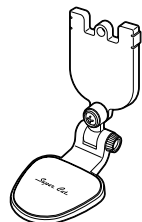


(固定ネジ付属)

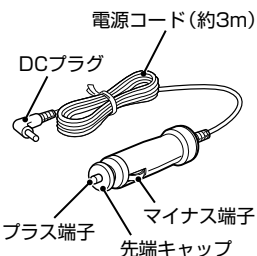
●マジックテープ

●取扱説明書・保証書 (1)

●ダッシュボード取付用 ブラケット (1)



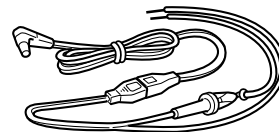
●シガープラグコード (1)



別売品のお知らせ

■電源直結コードOP-4(約4m) 1,575円(税込)

シガーライターソケットを使わずに、アクセサ
リー系端子から直接電源をとることができます。



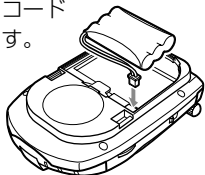
■交換用ニッケル水素電池 2,100円(税込)

本電池は本機専用です。

ソーラーバッテリーからの充電のしかた

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続する

本体底面のソケットにコードのプラグを差し込みます。



電源がONとなり、ターン・オン・ビープが鳴ります。

本機はソーラー電卓などと違い、ソーラーバッテリーのみでの駆動はできません。専用の充電電池を接続して、初めて正常に動作しますので、必ず接続してください。ソーラーバッテリーは専用の充電電池を補充充電するためのものです。

2 ソーラーバッテリーに太陽光がよく当たる場所に取り付ける

駐車するときは、ソーラーバッテリーに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。効率の良い充電ができます。

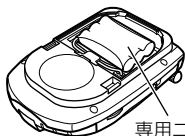
本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、走行中や駐車中でも、ソーラーバッテリーによる太陽光からの充電ができます。ただし、初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを接続し、必ず合計10時間(例 1日2時間で5回)以上、走行しながら充電してください。

カーセキュリティ機能を良く使われる場合、警戒状態を長期間保つために、走行中に充電する(常時シガーライターソケットに接続)ことをお勧めします。

シガーライターソケットからの充電のしかた

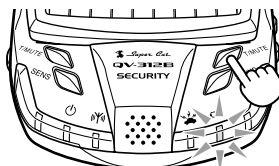
1 付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。



専用ニッケル水素電池

10時間(例 1日2時間で5日)以上使いながら充電した後、シガープラグコードを抜いてテスト&ミュートボタンを押し、バッテリーランプが緑色に点灯することを確認する(●7ページ)



- ・本機はDC12V/24V(マイナスアース)車対応です。
- ・シガープラグコードで充電する場合、ローバッテリーアラームが鳴った状態から、約10時間でフル充電できます。
- ・シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- ・シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜き、専用の充電電池を外して、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- ・シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- ・一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。(●5ページ)



DCジャック

シガーライターソケット

警告

助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

- 満充電から無警報の状態、約130時間*の連続使用ができますが、薄曇りなどの天候が続いたり、バッテリーの消耗が激しく、130時間以内にローバッテリーアラーム(バッテリーランプが赤色に点滅)の状態になることがあります。

※連続使用時間は、無線機能およびセキュリティ機能がOFFの状態の場合です。

- 一日約2時間レーダー受信機能および無線受信機能をON、降車後は「警戒モード」で使用し、毎日2回の乗車時に「ドア開」検知した場合で、約2週間の連続使用ができます。

※これらの時間は警報の頻度などにより異なりますので、目安としてお考えください。

- 付属の専用バッテリーには寿命があります。充電が充分でなくなったら、新しいものと交換してください。(寿命の目安としては、約3~5年ですが、3年以内でも劣化することがあります。)

- 交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、ローバッテリーアラーム(🔊) プププ プププ...が鳴り出します。このようなときは充電が必要です。付属のシガープラグコードを使い、充電してください。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態	赤色点滅(2回点滅)
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態 (全ての機能が動作しなくなります)	赤色点滅(3回点滅) ローバッテリーアラームが鳴ります(約1分間)

- ・日中はバッテリーランプの赤色の点滅が見えにくい場合がありますので、ご注意ください。

●オートパワーON/OFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分間以上続くと、自動的に電源がOFFの状態になり、カーセキュリティ機能を「警戒モード」に設定していた場合、自動的に「警戒モード」になります。また、「警戒モード」中に振動を検出すると、電源がONの状態になります。

※振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。

※走行中でも、低速走行や一時停止など、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFF機能が働きます。

冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくく、バッテリーアラーム表示がひんぱんになる場合があります。このようなときは、シガープラグコードを使用し、こまめに充電してください。

■バッテリーの残量表示について

シガープラグコードを抜いた状態でテスト&ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量を表示します。

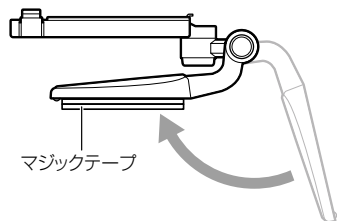
バッテリーの状態	バッテリーランプ
残量が充分な状態	緑色点灯
少し消耗した状態	オレンジ色点灯
充電が必要な状態	赤色点灯

- ・シガープラグコードをDCジャックに差し込んだ状態では、バッテリーの残量表示はしません。
- ・電源がONの状態になっても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- ・温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

ダッシュボードに取り付ける

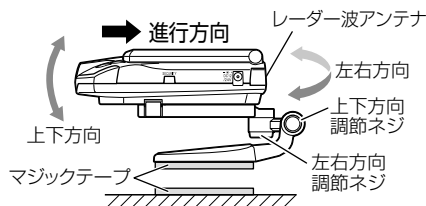
ブラケットで取り付けるには

1 ブラケットに付属のマジックテープを貼り付ける



- ・レーダー波アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- ・あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落とし、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。
- ・使用中、本体が傾くような場合は、ネジの締め付けを行ってください。

2 本体を道路に対して水平に、またアンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整する



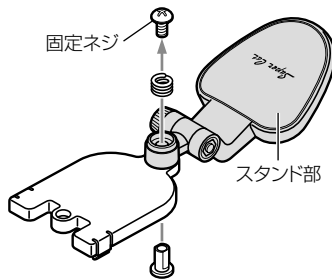
警告

- ❗ エアバックの上に取り付けしないでください。万一のとき動作したエアバックで飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- ❗ 自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

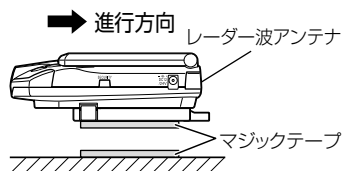
●本機はフレキシブルブラケットを採用しています。【特許出願中】

ダッシュボードに直付けするには

1 ブラケットの固定ネジをはずして、スタンド部をはずす



2 取り付けたとき、本体が道路に対して水平で、アンテナが進行方向(前方)を向くことを確認し、付属のマジックテープで、ブラケットをダッシュボードに貼り付ける



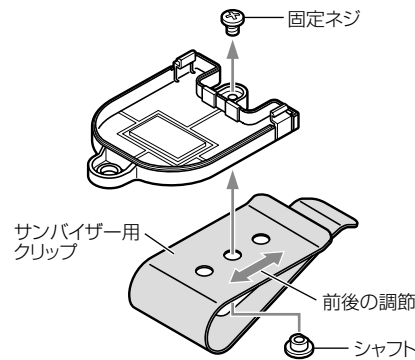
注意

- ❗ 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。
- ❗ 上下方向の角度を調節するときは、必ず上下方向調節ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。

サンバイザーに取り付ける

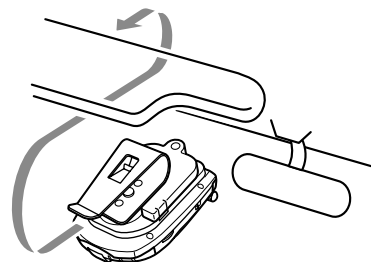
1 ブラケットからスタンド部をはずし、固定ネジでサンバイザー用クリップを取り付ける

サンバイザー用クリップは、取り付け穴の位置を変えることにより、前後の調節ができます。太陽光が十分に当たる位置に取り付けてください。



- ・サンバイザーに取り付けられない場合でも、固定ネジやシャフトはなくさないように、クリップやブラケットに付けた状態で保管してください。

2 助手席側のサンバイザーに挟み込む

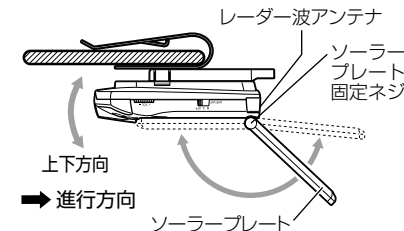


次のような理由で、ソーラープレートに太陽光が充分当たらない場合や、サンバイザーの形状により取り付けができない場合は、ダッシュボードへの取り付けをおすすめします。

- ・フロントガラスの上部がスモークやサンシェード付きのとき
- ・サンバイザーが奥まった位置のとき
- ・サンバイザーの形状により、本体が水平にならないとき

3 取り付け角度、ソーラープレートの角度および前後位置を調節する

道路に対して水平に、またアンテナが進行方向を向くようにします。



- ・サンバイザーでスピーカー部分を塞がないようにしてください。警報音が聞こえにくくなります。
- ・ソーラープレート固定ネジをゆるめて、太陽光がよく当たるような角度に調節し、しっかりネジを締めてください。

注意

- ❗ ソーラープレートの角度を調節するときは、必ずソーラープレート固定ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。



音量/警報音/受信感度を設定する

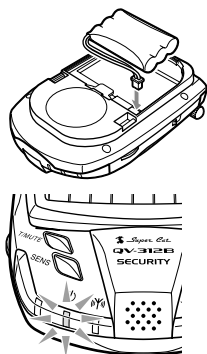
設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

本体底面のソケットに付属の専用ニッケル水素電池のコードのプラグを差し込みます。

ターン・オン・ビーブ(フビッ)ピロップピロツ…が鳴り、パイロットランプが点滅します。

- UHF/VHFスイッチを「M」または「S」に設定しているときは、『ピロップピロツ』のあとに『ビビビッ』と鳴ります。(➡14ページ)



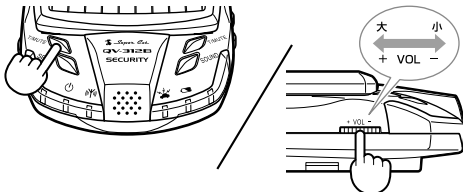
本機は電源スイッチがありません。電源を切りたい場合は、専用ニッケル水素電池を抜いてください。また、振動のない状態が約3分間続くと、オートパワーOFF機能が働き、自動的に電源は切れます。再度電源を入れたい時は、本機へ細かい振動を与えるか、電池を抜き差ししてください。

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。

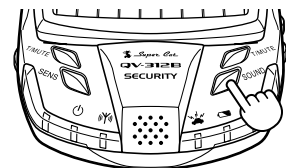
テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音またはメロディ)を確認することができます。

テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(➡12ページ)



3 警報音を選ぶ

警報音セレクトボタンで切り換えます。



ボタンを押すたびに切り換わります。

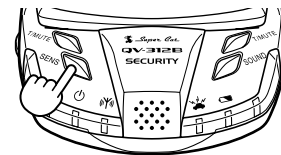
選択した警報音は、テスト&ミュートボタンを押すと確認できます。

「メロディ」に設定すると、♪「ミッキーマウスマーチ」のメロディで警報します。

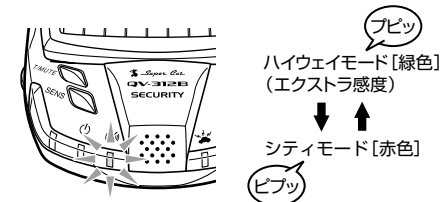


4 受信感度を選ぶ

受信感度セレクトボタンを押して切り換えます。



ボタンを押すたびに感度ランプの点滅色が変わります。



受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え

	受信感度	走行環境や条件
高い ↑	ハイウェイモード (エクストラ感度)	郊外や高速道路
低い ↓	シティモード	市街地

便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプやシグナルメーターなどのランプ類も暗くなります。

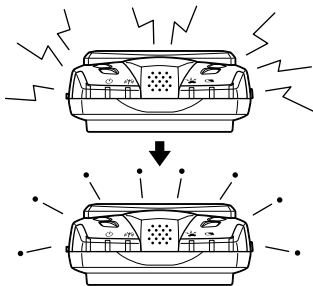
後方受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラ感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができた

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン・オン・ビーブ

電源をONの状態にしたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



- ・バッテリーが消耗しているときは、ターン・オン・ビーブのあと、しばらくしてからローバッテリーアラームが鳴ります。
- ・UHF/VHFスイッチを「M」または「S」に設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(➡14ページ)

レーダーアラーム機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音(メロディ/電子音)と光(アラームランプ)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。

- ・メロディはテンポアップしません。
- ・レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)

iDSPについて

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)※により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常の警報音とは違うニアミスアラームでお知らせします。【ステルス識別】

※ iDSPを解除することはできません。

※ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

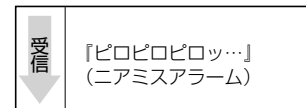
ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

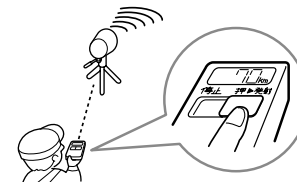
- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りにはレーダー波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・通常のレーダー波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ニアミスアラームでお知らせすることがあります。

<ステルス波を受信したとき>

- 専用のニアミスアラームでお知らせします。



5秒以上受信が続くと、警報音セレクトボタンで選んでいる通常の警報音に変わって警報します。



新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。

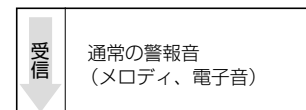
ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



※ 電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

<新Hシステム波を受信したとき>

- 選んでいる通常の警報音(メロディ、電子音)でお知らせします。



取締りレーダー波のX・Kツインバンドに、無線10バンド受信をプラスし、GPS非搭載モデルで業界最多の12バンド受信ができます。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{Xバンド} \\ \hline \text{Kバンド} \\ \hline \end{array} + \text{無線10バンド} = \text{12 BAND}$$

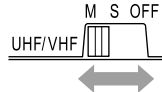
1. 無線10バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線10バンド受信機能を搭載しました。これらの無線を受信すると、電子音で警報します。【無線10バンド警報】
なお、これらの無線10バンドは個別にON/OFFの設定ができます。

<無線の受信モードを選ぶには…>

① 受信モードを選ぶ

UHF/VHFスイッチで受信モードを選びます。



		無線10バンド	①「取締無線」	②「カーロケ無線」	③「デジタル無線」	④「取締特小無線」	⑤「ヘリテレ無線」	⑥「署活系無線」	⑦「レッカー無線」	⑧「消防無線」	⑨「消防ヘリテレ無線」	⑩「新救急無線」
「OFF」	無線：OFF ・すべての無線を受信しません。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「S」	標準モード ・①「取締無線」と②「カーロケ無線」の2バンドを受信します。 ・2バンド固定で、個別のON/OFF設定はできません。		●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
「M」	マルチバンドモード ・初期設定は、 ソーラーモード：①～⑤の5バンドがON設定、 ハイブリッドモード：①～⑩の10バンドがON設定になっています。 ・それぞれのバンドは個別にON/OFF設定できます。		○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

●→ON固定 ○→ON/OFF可変

<各種無線を個別にON/OFF設定するには…>

① UHF/VHFスイッチをOFFにする

② テスト&ミュートボタンを押しながら、UHF/VHFスイッチを「S」または「M」にする

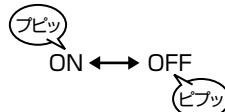
『ブピッピッ』という音がし、バンド選択モードになります。

《バンド選択モードについて》

- ・モード中は、レーダーおよび無線の警報はしません。
- ・モード中は、それぞれのバンドのON設定を、感度ランプとUHF/VHFランプで表示します。
- ・モード中、テスト&ミュートボタンと受信感度セレクトボタンが押されない状態が約10秒間続くと、モードは解除されます。

③ テスト&ミュートボタンを押す

押すたびに、①「取締無線」のON/OFFが切り換わり、電子音でお知らせします。



④ 受信感度セレクトボタンを押す

次のバンド②「カーロケ無線」に切り換わります。

⑤ 同様に③と④の操作を繰り返す

無線10バンド	バンド選択表示	
	感度ランプ	UHF/VHFランプ
①「取締無線」	緑点灯	—
↓ 受信感度セレクトボタンを押すと…		
②「カーロケ無線」	赤点灯	—
↓		
③「デジタル無線」	オレンジ点灯	—
↓		
④「取締特小無線」	オレンジ点滅	—
↓		
⑤「ヘリテレ無線」	緑点灯	緑点灯
↓		
⑥「署活系無線」	赤点灯	緑点灯
↓		
⑦「レッカー無線」	オレンジ点灯	緑点灯
↓		
⑧「消防無線」	緑点灯	緑点滅
↓		
⑨「消防ヘリテレ無線」	赤点灯	緑点滅
↓		
⑩「新救急無線」	オレンジ点灯	緑点滅

①→⑩の順番で個別にON/OFFの設定をします。⑩「新救急無線」の後は、①「取締無線」に戻ります。

<各種無線を受信すると…>

無線10バンド	警報音	UHF/VHFランプ
①「取締無線」	『ビビビビッ』	緑/点滅
②「カーロケ無線」	『ビビビビッ』…②と④の識別はできません。	
③「デジタル無線」	『ビビビビッ』	
④「取締特小無線」	『ビビビビッ』…②と④の識別はできません。	
⑤「ヘリテレ無線」	『ビビビビッ』 ※③および⑤～⑩の識別はできません。	
⑥「署活系無線」※		
⑦「レッカー無線」※		
⑧「消防無線」※		
⑨「消防ヘリテレ無線」※		
⑩「新救急無線」※		

それぞれの無線の内容は、聞くことができません。

※：ハイブリッドモード時
シガープラグコードを接続しているときで、それぞれの無線が「ON」に設定されているとき受信します。

- それぞれの電波を一瞬でも受信すると、アラームが鳴ります。
- アラームが鳴ったあと、30秒以内にもう1度それぞれの電波を受信してもアラームは鳴りません。
- アラームが鳴っているときに取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波受信時の警報音が優先されます。
- 圏外通知が鳴っても、実際にはカーロケ搭載車が停車中などで、近くにいる場合がありますので、ご了承ください。
- カーロケ近接受信から圏外通知までの間、UHF/VHFランプは速い点滅をします。
- カーオーディオやカーナビ、その他、カーエアコン、電動ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、誤警報する場合があります。あらかじめご了承ください。

1 取締無線

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることがあります。350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

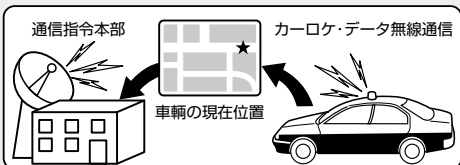
※ 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

2 カーロケ無線

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の

周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。このように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

- カーロケーターシステムは、まだ導入されていない地域やシステムが変更になった地域もあり、すべての移動局に搭載されているとは限りません。また搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。



3 デジタル無線

デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局

が近くにいる可能性が高いことを察知できます。カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

4 取締特小無線

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることが一般的ですが、特定小電力無線が用いられる場合があります。

- 取締り現場の連絡用として使われていない場合もありますので、ご了承ください。

5 ヘリテレ無線

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線がヘリテレ無線です。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

6 署活系無線

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

7 レッカー無線

主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。このため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。予めご了承ください。

8 消防無線

消防車が消火活動時や、活動後に消防署に帰るまでに連絡用として使われる無線が消防無線です。

予め受信察知することにより、消防車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

9 消防ヘリテレ無線

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われる無線が消防ヘリテレ無線です。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

10 新救急無線

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。

予め受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

2. カーロケ遠近鳴分け+圏外通知機能【特許出願中】

407.7MHz帯の発信元が遠方か近接しているかを識別し、遠いと思われる時は、『ピッピピッ...』という低い電子音でお知らせし、近いと思われる時は、『ピッピピッ...』と高い電子音で鳴り分けてお知らせします。【カーロケ遠近鳴分け】

カーロケ遠近鳴分け+圏外通知により、ストレスモード⇔リラックスモードのスムーズな切り換えを促し、より快適で安心な運転をアシストします。

更に、電波の受信状況により、発信元が遠ざかったと思われる時は『ピッピピッ ピーピー』という電子音でお知らせします。【圏外通知】



カーロケ遠近鳴分け+圏外通知により、ストレスモード⇔リラックスモードのスムーズな切り換えを促し、より快適で安心な運転をアシストします。

※実際には、停車中などで近くにいる場合もありますので、目安としてお考えください。

本機は簡易セキュリティ機能を搭載しています。

「警戒モード」にセットしておくとし、青いステータスLEDの点滅で威嚇し、「強い衝撃」および「ドア開」を検知すると、大音量サイレンで警報します。

「警戒モード」にするには…

① 電源ONの状態を確認する。

パイロットランプの点滅を確認します。

② [SECURITY] ボタンを長押し(約1秒間)する

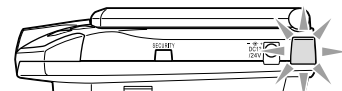
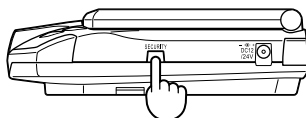
「ブピッ」という確認音がし、アラームランプが速い点滅をします。(約30秒間)

- ハイブリッドモード時にセキュリティボタンを長押し(約1秒間)すると、一旦「ブピッ」という確認音の後で、電源ONの状態になります。また、アラームランプの速い点滅中(約30秒間)にシガープラグコードにより電源が供給された場合も同様になります。

③ 「警戒モード」にする

「ブピッ」という確認音の後、速い点滅が約30秒間続いた状態になると、自動的に「警戒モード」に入り、青いステータスLEDがゆっくり点滅(4~5秒間隔)します。

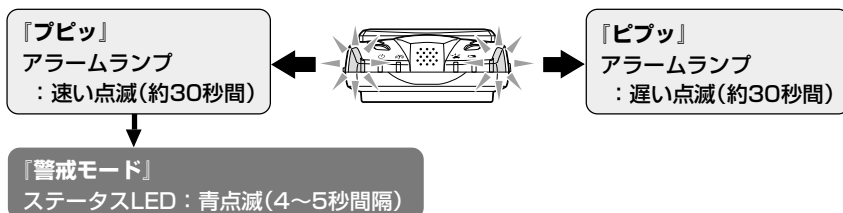
- アラームランプの点滅中(約30秒間)に、車外に出て車のドアを開けてください。「警戒モード」後に、ドアを開けると、重衝撃警報となります。



「警戒モード」の設定/解除を変更するには…

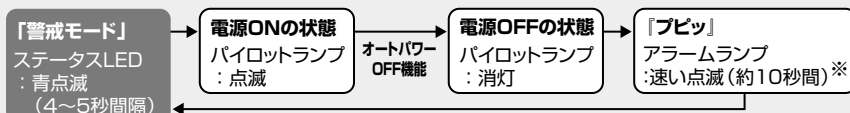
「ブピッ」という確認音の後で、[SECURITY] ボタンを押す(短押し)

押すたびに「警戒モード」の設定/解除が切り換わり、電子音とアラームランプでお知らせします。



● 自動「警戒モード」について

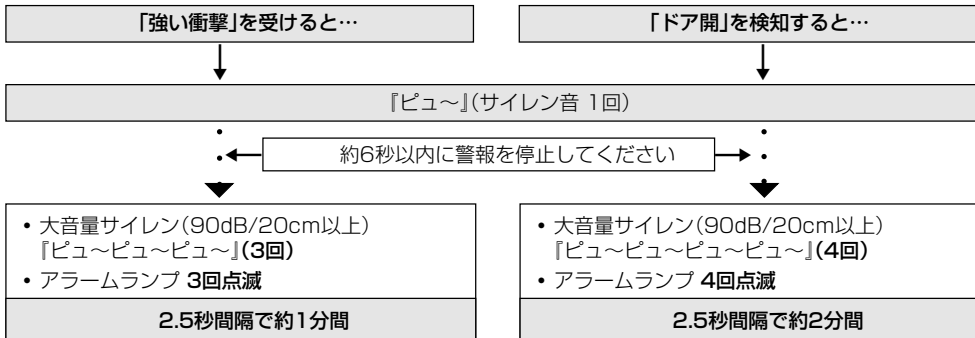
「警戒モード」から、一旦「電源ONの状態」になり、さらに、「オートパワーOFF」機能により、「電源OFFの状態」になると、自動的に「警戒モード」に戻ります。(一旦、「警戒モード」に設定すると、何も操作しなくても、自動的に「警戒モード」になります)



- 自動「警戒モード」を解除するときは…

※の約10秒間に[SECURITY] ボタンを押します。『ブピッ』の確認音がします。

「警戒モード」中に異常を検知すると…[警報]



- 警報終了後は、「警戒モード」に戻り、再度異常を検知すると、警告・警報します。
- 「警戒モード」中でも、運転中の振動と判別した場合は、警告・警報しません。

- 「警戒モード」にするときは、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。(オープンカーでは使用できません)
- 強い雨や雹(ヒョウ)、雷などを検知して警報を発する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所、または、その他の振動や騒音が発生している場所では、警報を発する場合があります。

本機はセンサーにより異常を検知し、警告・警報を発する防犯装置で、イタズラや盗難を完全に防止できるものではありません。また、本機の動作の有無に関わらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

警報を停止するには…

「警戒モード」中は、お客様と不審者の区別がつかませんので、車に乗り込むときなど、毎回、警告・警報を停止する必要があります。次の方法で停止してください。

一旦、警告・警報を停止しても、また「警戒モード」に戻りますので、不要な場合は、「警戒モード」を解除してください。

エンジンキーで警報停止する

シガープラグコードを接続した状態で、エンジンをかける

(エンジンキーをACCまたはONにする)

※シガープラグコードを接続していない状態では警報を停止できません。

- 渋滞時や停車中など3分以上振動を検知できない場合は、「警戒モード」となる場合があります。その場合は、シークレット・キャンセルで警報を停止するか、「警戒モード」を解除してください。(ソーラーモード使用時)
- ハイブリッドモードでご使用の場合は、ACCがOFFされない限り、「警戒モード」にはなりません。

シークレット・キャンセルする

シークレット・キャンセル・ボタンを押す

- 1 [SECURITY] …… [固定]
- 2 [SECURITY] …… [初期設定/可変]
- 3 [SECURITY] …… [初期設定/可変]
- 4 [SECURITY] …… [初期設定/可変]

3秒以内

- シークレット・キャンセルした後は、ターン・オン・ピープが鳴り、電源ONの状態になります。
- ①②③④の操作は3秒以内に完了してください。
- シークレット・キャンセル・ボタンの②③④はそれぞれ[SECURITY]から他のボタンへ変更できます。(➡20ページ)

シークレット・キャンセル・ボタンを変更する

- 電源ONの状態を確認する
 - パイロットランプの点滅を確認します。
- SECURITY** ボタンを長押し(約10秒間)する
 - 『プピップピッ』と確認音がし、シークレット・キャンセル・ボタン変更モードになります。このとき、アラーム・ランプは点滅状態になります。
 - モード中、**SECURITY** ボタンとテスト&ミュートボタンが押されない状態が約10秒間続くと、モードは解除されます。→モードが解除されると、ターン・オン・ビープが鳴ります。
 - モード中は、レーダーおよび無線の警報はしません。
- SECURITY** ボタンを押す(短押し)
 - SECURITY** ボタンを押すたびに、ボタンの設定が次のように変わります。
 - このとき、『ピピッ』と確認音がし、感度ランプの点灯/点滅色が変わります。
 - ⑥の次は①に戻り、このとき『ピピッ』と確認音がします。

		シークレット・キャンセル・ボタン				感度ランプ
		①	②	③	④	
セキュリティボタンを押す	初期設定		SECURITY	SECURITY	SECURITY	—
	①	SECURITY ボタン(固定)	SOUND	SENS	T/MUTE	赤/点灯
	②		T/MUTE	SOUND	T/MUTE	オレンジ/点灯
	③		T/MUTE	SOUND	SENS	緑/点灯
	④		SENS	SOUND	T/MUTE	赤/点滅
	⑤		T/MUTE	SENS	T/MUTE	オレンジ/点滅
	⑥		T/MUTE	SENS	SOUND	緑/点滅

①へ変更した場合のシークレット・キャンセル操作

① **SECURITY** ▶ ② **SOUND** ▶ ③ **SENS** ▶ ④ **T/MUTE**

- テスト&ミュートボタンを押す
 - このとき、『プピップピッ』と確認音に続けて、ターン・オン・ビープがし、設定変更されます。
 - テスト&ミュートボタンを押す前に、モード解除となった場合は、設定変更されません。
 - 一旦、変更した後の再変更はできません。**SECURITY** ボタンを、長押し(約10秒間)しても『ブブッ』と鳴り、設定モードにはなりません。このとき、指からボタンを放すと、ターン・オン・ビープがします。
- 再変更する場合は、一度初期設定に戻してから再変更してください。

※初期設定に戻す場合は、一旦、専用充電電池を抜き**SECURITY** ボタンを押したまま、専用充電電池を接続します。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法(追尾方式)

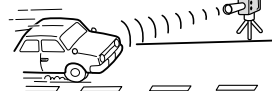
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。
※本機は取締りレーダー波を放射しているものについては後方受信します。また、カーロケータシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報することができます。

2. 距離と時間で算出する方法(ループコイル式・LHシステム)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。
※この方式は取締りレーダー波を放射しておりませんので、検知できません。

3. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて放射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



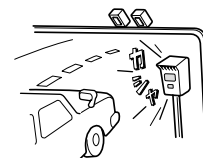
※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流になると思われます。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、放射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、放射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機(オービスⅢ)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

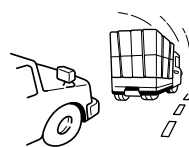
●Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも使用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の放射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

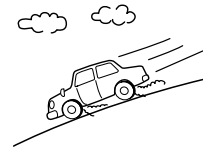
- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕



〔コーナー〕



〔下り坂〕

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を放射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	・バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 ・オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源がOFFの状態になります。このとき、「警戒モード」に設定している場合は、自動的に「警戒モード」になります。
充電できない	・太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 ・シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
反応(警報)しない	・電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅または点灯を確認してください。 ・警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 ・オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源がOFFの状態になります。 ・取締りレーダー波が発射されていませんか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスⅢではよくあります) ・取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。
取締りもしないのに警報機能が働く	・ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 ・取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— ・電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車輛通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 ・まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	・レーダー波の受信が約30秒以上が続くと、バッテリーの消耗を抑えるために警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	・UHF/VHFスイッチを「M」または「S」に設定していましたか。 ・取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
ひんぱんに無線警報する	・放送局や無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車のカーナビ画面、カーオーディオなどから強い電波が放射されている場合があります。 ・無線10バンドは個別にON/OFF設定できますので、あまりひんぱんに警報するバンドはOFF設定にするなどしてください。

仕 様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	： DC 3.6V (専用ニッケル水素電池1.2V×3) DC 12V/24V (シガープラグ入力充電電圧)	受信周波数	： [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 340～470MHz帯 [VHF部] 154～160MHz帯
消費電流	： 待機時：7mA以下 (UHF/VHF部 OFF時) 最大：180mA以下	動作温度範囲	： -20℃～+85℃ (UHF/VHF部：-10℃～+60℃)
受信方式	： [レーダー部] スィープオシレーター式ダブルスー パーヘテロダイン方式	外形寸法	： 70(W)×26(H)×104(D)mm (電池部除く)
		重量	： 121g(電池含む)

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

○保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●アフターサービス等についてご不明の点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所、サービス部にお問い合わせください。

ユビテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日10：00～18：00です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

●製品の機能・仕様、取扱方法に関するお問い合わせ

……お客様ご相談センター TEL. (0564)45-5599

●修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011) 618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022) 284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03) 3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052) 769-1601 〒453-0092 愛知県名古屋市中名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06) 6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082) 230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092) 552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- ・上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。